



校報 あよう

令和6年度 第2号
4月9日 発行

㊦あかるくやさしい子 ㊧よく学び磨き合う子 ㊨うんとあそび元気な子

雲南市立阿用小学校

<http://shimane-school.net/unnan/ayou-sho/index.php>

全ての保護者の方にぜひお読みいただきたい内容です!!

ひまわり学級

◇阿用小学校では、6年ぶりに特別支援学級（自閉症、情緒学級支援）が開設されます。始業式の日、子どもたちに私（校長）とひまわり学級担任から次の話をしました。

—校長より—

始業式後「ひまわり学級」&「性の多様性」についての話

今日は、それぞれの学年の初めの日にあたって、みなさんにぜひよく考えてほしい大切なことをお話します。

【特別支援教育】

私たち人間は、誰でも「得意なこと」「不得意なこと（苦手なこと）」があります。例えば、歌を唄うこと、楽器を弾くこと、走ること、読むこと、書くこと、計算すること、泳ぐこと、ボール運動、大勢の中で勉強すること…等々

もし、53人のうち5人だけ苦手なことがあったら、3人だけだったら、1人だけだったら…

そのことが理由で、苦手でない多くの友だちに笑われたり、馬鹿にされたりたり、からかわれたりしたら…

そんなことがある学校は、みんなが過ごしやすく、楽しい学校と言えるでしょうか？

【性の多様性】

皆さんは、男の子ですか？女の子ですか？それはどうしてですか？

身体は男性でも心は女性だったり、身体は女性でも心は男性だったり、身体も心も男性で、好きになるのは男性であったり、身体も心も女性で、好きになるのは女性であったり、身体も心も男性で、好みの服装が女性向けの服装であったり、身体も心も女性で、好みの服装が男性向けの服装であったり、いろんな人がいます。

だいたい、10人に1人くらいこのような人(LGBTQ+)がいるといわれています。こんな話を聴いて、みなさんはどう思いますか？なんだか自分とは違って仲良くできるだろうか？と思う人もいるかもしれませんね。

だからといって、それがその人を馬鹿にしたり、からかったりしていい理由にはなりません。

【いじめ・差別は誰の問題か？】

10人に1人という人数は左利きの人と同じくらいの数です。左利きを理由に馬鹿にしたり、からかったりしてはならないのと同じです。

もし、背の高さが170cm以上の人は自動車を運転してもいいけど、169cm以下の人はいけないとなったら、どうでしょう？そのような社会で幸せに暮らすことができると思いますか？

そもそも、人をからかったり、馬鹿にしたりしていい理由などありません。いじめはいじめの人がいるからあるのです。

差別は差別する人がいるからあるのです。いじめや差別は、される側の問題ではなく、どこまでいってもする側の問題、問題はする側にあるのです。

【多数派・少数派といじめ・差別】

世の中の多くの方は、心と身体の性が一致しています。このような多くの人たちを多数派（マジョリティ）と言い、それ以外の少数派の人たちを少数派（マイノリティ）と言います。

大人数の方たちが、少ない人数の方たちを笑ったり、馬鹿にしたり、からかったりする世の中は、平和で暮らしやすいでしょうか？

【人権の世紀である21世紀を生きる子どもたちへ】

☆21世紀は、人権の世紀だと言われます。静かに目を閉じ、自分の呼吸を意識してみてください。そして、ゆっくり息を吸い込んで止めてみてください。どうでしょうか、自分の周りにある空気を感じることができたでしょうか。

『人権』は、私たちの周りを包み込むように存在する、言わば「空気」のようなものです。だから、日頃その大切さに気がつかないまま日々の生活をおくっている人もたくさんいるかもしれません。ところが、いったんそれが奪われた（侵害された）となると、とても苦しくなります。空気と同じようにその大切さをあらためて実感するはずですが、人権とは私たち一人一人にとって、生命にかかわるかけがえのない大切なものなのです。

【合理的配慮】

◇合理的配慮とは…？もし自分が明日から、車いすで生活しなければならなくなったら？

阿用小学校は大丈夫？どうなる暮らしやすい？一人ひとりがこの機会に自分事として考えてみましょう。

ーひまわり学級担任よりー

明日の入学式に9名の1年生が阿用小学校に入ってきます。

全校の53人の仲間である、みなさんひとりひとりが心優しく成長していくために、そして、新しく仲間になる1年生が安心して楽しく毎日を過ごせるように、知っておいてほしい大切なことをこれからお話します。

[裏面に続きます]

一つ目は、人それぞれで好きなことや得意なこと、苦手なことは違っているということ。
二つ目は、人それぞれみんな違っていることを理解して、お互いに思いやりの気持ちを持って過ごすことです。

この二つのことを一生懸命考えることで、阿用小の53人の子どもたちみんなが、気持ちよく学校生活を送れると思います。

一人一人の得意・不得意に合わせて、学ぶ場所や学ぶ方法はたくさんあり、分かりやすく勉強するための工夫も違っていています。

今年度から、「ひまわり」という学級がふえました。ひまわり学級は、少ない人数で、ゆっくり自分のペースで勉強するクラスです。

明日入学してくる1年生の中にひまわり学級のお友だちが一人います。名前は〇〇さんと言います。

〇〇さんは、ひまわり学級で1年生の勉強はもちろん自立活動という勉強もします。1年生教室で一緒にする勉強もあります。

〇〇さんがひまわり学級で一人で勉強する理由は、得意なことをのびしながら、苦手なことを乗り越えるためです。

苦手なこととして、例えば、「みんなの前だと緊張する、初めてのことだとドキドキして参加しにくい」などがあります。

そんなことって、自分にもあるよ…って思う人もいると思います。そんな苦手を乗り越えるために、みんなは学級で安心できるように説明をしっかりと聞いたり、練習したりしますね。〇〇さんは、少ない人数の安心できるひまわり学級で、説明を聞いたり練習したりして、みんなと一緒に活動に参加できるようにしていきます。

次に髪型と服装について知っておいてほしいことがあります。〇〇さんは男の子ですが、髪を長く伸ばしています。それからズボンとスカート両方の制服を持っていて、入学式はスカートで参加します。今まで校長先生や担任の先生からお話を聞いたり、勉強してきたりしたからわかっている人もずいぶんいると思いますが、人それぞれのあたりまえやふつうはみんな違います。

「男の子だから」とか「女の子だから」と決めつけることが、〇〇さんだけでなく、たくさんの人を悲しい思いにさせることをみなさんは知っていると思います。

入学式以降はスカートかズボンか分からないけれども、〇〇さんが自分の好きな方を選んで着て来ます。「それで、大丈夫だよ。阿用小学校のお兄さんやお姉さんはそんなことではかにしたり、からかったりしないよ。」と言ってあります。みんなは、〇〇さんらしさを大切にあげられる仲間になってくれると思っています。

それから、慣れない音も苦手なので、イヤーマフという物を耳につけていることがあります。イヤーマフをつけることで、音から受けるしげきを減らして、落ち着くことができます。

ひまわり学級で学習すること、髪型や服装のことなど今日お話しましたが、明日からの生

活で「なんでかな」と思うことがあれば、私や担任の先生、保健室の先生に聞いてくださいね。

最後に、トイレについてお話します。〇〇さんは男子トイレを使います。スカートをはいてくる日もあると思うのですが、体は男の子です。男子トイレを使うのは当然ですので、そのことを笑ったり、からかったりするのはどうでしょうか？自分が同じことをされたら…どうでしょう？一人ひとりがよく考えてほしいと思います。

それから、体育館にある多目的トイレのドアがかわりましたね。あのトイレは、車いすの人など、みんなが使いやすいように広く作られています。洋式トイレですので、男女関係なく誰でも使ってよいトイレです。体育館の多目的トイレも〇〇さんは使うことがあります。実はまだトイレの名前が決まっていないので、ぜひみなさんですてきな名前を考えてほしいと思っています。

阿用小学校の53人のみんなの笑顔がかがやくようにするためにどうすればいいかな？と今日の話をつきかけにして、お家の人や学級でぜひ話し合ってみてください。